

序 言

1992年度に神奈川大学に大学院外国語学研究科修士課程が設置され、1994年3月にその第1回の修了生を出すことになった。この研究科は英語英文学専攻課程と中国言語文化専攻課程からなるが、今回の修了生は英語英文学専攻の4名のみである。この修了生の修士論文に発表の機会を与えるためにこの論集は計画された。それに研究生ならびに大学院担当教員の論文も加えてこの第1号はなった。修士論文がすぐ活字となって公にされる機会に恵まれた大学院生は、全国的に見てそれほど多くない。この機会を有効に活かすように、今後の修了生は印刷に価する立派な論文を書くように努力してほしいと思う。

1994年2月

外国語学研究科委員長

国 広 哲 弥